



農水産業版「市長とドンドン語ろう！」の開催実績

-第1回-

令和元年3月20日

園芸編（すいか、メロン等）

参加者38人



-第2回-

令和元年7月31日

果樹編（みかん等）

参加者51人



-第3回-

令和元年11月26日

園芸編（なす、トマト等）

参加者26人



-第4回-

令和3年11月4日

-第6回-

令和5年2月8日

認定農業者編

参加者 第4回25人
第6回13人



-第5回-

令和4年8月23日

畜産編

参加者11人



-第7回-

令和5年7月10日

水産編

参加者14人



農水産業版「市長とドンドン語ろう！」等での主な意見

競争力の高い農水産業の振興

- ・自然災害や地球温暖化への対応が必要。
- ・良質な農産物の生産のためには生産技術の向上と産地の形成が必要。
- ・質も重要だが一定の売り上げの確保のため、生産性を向上させ、収量を増加させることも必要。
- ・資材や燃料、飼料価格が高騰している。生産に係る経費が増大しており、生産コストの低減に取り組むことも重要。
- ・鳥獣被害が拡大している。有害鳥獣駆除の充実が必要。
- ・ノリ養殖において、深刻化する赤潮等への対策等環境の変化に対応した漁業を推進し、生産枚数の減少に歯止めをかけることが重要。
- ・ノリ乾燥工程の委託加工の充実は、生産継続や拡大につながる。

持続可能な農水産業のための経営基盤の確立

- ・長期かつ安定的に働ける場、働きやすい環境づくりが必要。
- ・新規就農者の営農定着のためには、行政、JA、農家が連携し、地域としてバックアップする体制が必要。
- ・高齢化等で労働力の減少が深刻であるため、雇用の維持・創出が重要。
- ・後代に優良農地を引き継ぎ、生産だけでなく維持管理も含めて効率的な農業を行うためには、基盤整備事業の着実な実施、農地の集約化が重要。
- ・漁船の安全な航行には、漁港の浚渫等、漁港施設の整備が必須。
- ・農業を続けていくためには、稼げる仕組みづくり、安定した収入の確保が必要。

農と食の魅力創造

- ・農産物自体のPRだけでなく、背景にある農業や取り組んでいる人に焦点を当てた情報発信で消費者の理解を深めることが重要。再生産価格の確保には消費者の理解が欠かせない。
- ・個々のブランディングも大事だが、区・市・県など大きな単位でのブランディングはブランド力の強化につながる。
- ・海外展開に向けた海外販路開拓が重要。
- ・SNSやメディアの活用、トッププロモーションの実施など、戦略的なプロモーションが必要。
- ・農業と他業種との交流が重要。
- ・道の駅などの直売所を活用した消費者との交流や農産物のPRも重要。